

＊ ＊ お 知 ら せ コ ー ナ ー ＊ ＊

神居まちづくり推進協議会事業  
**神居支所マルシェを開催！！**

神居の野菜や果物などの農畜産物や加工品を販売。また神居エコ&フリーマーケットも同時開催する予定です。

子どもから高齢者まで幅広く参加できるイベントです。

どうぞお楽しみに！出店者も募集します！！

と き：8～9月頃の土曜日午前中から数回

と ころ：神居支所（神居2条9丁目1-19）

正面玄関側駐車場

神居公民館大会議室

その他：出店条件等の開催要領は決まり次第お知らせします。

問合せ先：神居まちづくり推進協議会事務局

（神居支所・神居公民館 61-2311）

**障害者相談支援センター「にじ」  
開設のお知らせ**

障害者相談支援センター「にじ」は、市内在住の障害を持った方とその家族の支援を目的として、平成24年12月1日から開設しています。

詳しくは下記相談窓口までお問い合わせください。

- ◆開所日・時間：月曜～金曜 9:00～17:00
- ◆住所：神居3条6丁目（神居整形さん隣り）
- ◆電話：69-2051 FAX：69-2053
- ◆E-mail：soudan-niji@jeans.ocn.ne.jp

Twitter (ツイッター)、Facebook (フェイスブック)



**随 時 更 新 中 ！**

ぜひチェックしてください！！



カムイ新聞 検索

神居まちづくり推進協議会事業  
**異世代交流ウォークラリー大会を開催！！**

クイズを解きながら神居地区のチェックポイントの史跡、名所を見て回ります。

家族みんなで神居の魅力を見つけてみませんか？

と き：平成25年6月16日(日)

8：30 受付 9:00～12:00

と ころ：神居支所（神居2条9丁目1-19）

正面玄関駐車場集合

定 員：120名 参加料：無料

問合せ先：神居中央（大河 62-6856）

神居東（中島 63-3886）

忠和（荒木関 62-6606）

◆◆◆ なつかしの風景 ◆◆◆



旧国道12号線で現在の神居十字街を神楽方面に向かって写した昭和41年3月頃の写真です。

走っている自動車がレトロなものと、国道が雪のため1車線になっているのが印象的です。

（旭川市中央図書館所蔵資料より）

◆ ◆ ◆ あ と が き ◆ ◆ ◆

子どもたちのあふれるパワーに触れたレクリエーション。頼もしい中高生のリーダー、汗をぬぐいながら体育館を駆けまわる子どもたち。初めて会う子とすぐ仲良くなれる子どもって、すごいなあと改めて感心しました！

ボランティアで高齢者の方々と触れ合った忠和中の生徒さん、カルタ大会に参加した子どもたち。いろいろな場面で世代を超えたたくさんの方々から得たものを、次に役立てることができるような人材に育ててほしいものです。若い力に期待しますよ！

＊ ＊ 次号予告 ＊ ＊ 次号は7月に発行予定です。どうぞお楽しみに！！

記：T.N

◆ ◆ ◆ ご意見・お問合せ ◆ ◆ ◆

編集・発行：神居まちづくり推進協議会（まち協）

〒070-8012

旭川市神居2条9丁目1番19号 旭川市神居支所内 編集室

TEL 0166-61-2311 FAX 0166-61-8294

E-mail kamui\_br@city.asahikawa.hokkaido.jp

**まち協委員**

石坂会長、佐々木副会長  
遠藤委員、中島委員、大河委員  
荒木関委員、山内委員、杉野委員  
三宅委員、金田委員、林委員  
古山委員、開委員



～神居まちづくり推進協議会事業～

**「青少年レクリエーションゲーム大会」が開催されました！！**

2月17日に神居小学校体育館で青少年レクリエーションゲーム大会が開催されました。今回は神居まちづくり推進協議会の呼びかけにより、神居中央、神居東、忠和地区子ども会のリーダーが合同で今大会の企画から運営までを行いました。

大会は神居まちづくり推進協議会委員が見守るなか始まり、ボール代わりの柔らかいフリスビーを使って行う「ドッチビー」や現代版おにごっこ「警察と泥棒」など7つのゲームが行われました。ゲームは小1から高3までの幅広い年齢層の子どもたちみんなが楽しめるように考えられており、プログラムが進むにつれて、子どもたちの笑い声も次第に増え、汗だくになりながら元気に走り回る姿が見られました。寒い外とは対照的に体育館内は子どもたちの熱気に充ちていました。帰りにももらった参加賞を手にも、子どもたちは「楽しかった！」と笑顔いっぱい話してくれました。

このゲーム大会がきっかけとなり、今年2月に新しく神居中央連合子ども会が誕生しました！市内の子ども会が年々減っていく中で、経験豊富な大人が子どもたちのやる気や行動力を上手に引きだし、これからの社会の力となる人材を育てている神居地区の地域力や絆を強く感じました。



石坂辰義会長の挨拶でゲーム大会が始まりました。



参加賞のあさっぴー5色ボールペン



白熱したゲーム展開となったドッチビーの様子。フリスビーは当たっても痛くないけどキャッチするのが難しい！

最後のゲームはリーダーの話の中に出てくる「キーワード」に素早く反応できるかが勝負の鍵！



ゲーム大会を運営した3地区子ども会リーダーたち。低学年の参加者にも常に気を配り、大人顔負けのリーダーシップで会を盛り上げてくれました。大会の準備から会場の後片付けまで自発的に行動する子どもたちの姿がとても頼もしく感じられました。これからも色々な場で活躍してもらいたいです！



第2号

平成25年

3月15日発行

— 主な内容 —

- \* 青少年レクリエーションゲーム大会
- \* 忠和中学校訪問ボランティア
- \* 伊ノ沢市民スキー場 冬のあそび体験
- \* 地域包括支援センターの紹介
- \* 神居公民館「百人一首」

カムイ新聞  
まち協

## 世代間交流を積極的に！

### 「忠和中学校 訪問ボランティア」

～中学生だってがんばっている！！

1月7～9日の3日間、忠和中学校の生徒が「グループホーム忠和（忠和1-4）」を訪問しボランティア活動を行いました。

この活動は生徒会の主催により冬休み期間中に毎年行われているもので、施設内の清掃や除雪などを行っています。廊下のモップ掛け、テーブルや手摺りの水拭き、分別ゴミ箱などの清掃、施設周辺の除雪作業など熱心に取り組み、作業後は入居者の方々と一緒にクイズやパズルなどのレクリエーションで楽しく交流する姿が見られました。

将来福祉の仕事に関わりたいと考え参加した生徒もいて、「とても参考になりました。」と笑顔で答えてくれました。

最終日には合唱部員による発表が行われ「雪やこんこ」「浜辺の歌」などの童謡や昔懐かしい曲を披露しました。入居者の方々は口ずさんだり手をたたきながら一緒に歌ったりと楽しい時間を過ごしました。



## シリーズ～神居の防災について考える②

### 防災・減災の基本「自助」について

「自助」とは、自分の命は自分で守る取り組みのことです。例えば、災害に備えて食料や飲料水を備蓄すること、非常時の持ち出し品を準備しておくこと、災害時の避難所を確認し、実際に歩いてみるなどがあります。

また、地震に備えて家具を固定することも大切なことです。

これらの重要性については、皆さん十分に理解されていると思いますが、旭川市は災害が少ないということもあって、日頃から備えている人は少ないのが実情だと思います。

「天災は忘れた頃にやってくる。」という有名な言葉がありますが、近年は、予測できない初めて経験するようなことが次々と起こっており、何が起きてもおかしくない時代ではないでしょうか。

災害が起こってからでは間に合いません。今、準備できるうちに、一人一人が危機意識を持って災害に備えていくことが必要です。



消防本部 防災課より

## 「伊ノ沢市民スキー場 冬のあそび体験」開催！！

去る1月12日(土)、伊ノ沢市民スキー場で「冬のあそび体験」が開催されました。昨年8月、10月と行われたこのイベントも、今回で3回目。早速、取材をかねて参加してきました。以下はそのレポートです。

### 【宝さがし】

午前10時30分から行われ、主催者によると、お宝を50個用意したが、それを上回る約100名の参加があった。

### 【雪合戦】

午後1時30分から行われ、約60名のちびっ子が参加した。



### 【常設のあそび】

開催時間内ならいつでもできるあそびが以下のとおり用意され、賑わっていた。

- ・雪像、穴掘りコーナー
- ・ボン菓子
- ・お絵かきコーナー
- ・エアボード体験
- ・そりあそび、米袋すべり体験
- ・アイスクリームづくり体験



※スキー場ロッジにて、(株)旭川振興公社による甘酒の無料配布が行われた。

【参加人数】午前250人、午後250人、延べ約500人

～取材を終えて～ 今回で3回目となるこのイベント、参加者が少しずつ増え、過去の催しに参加した家族もおり(本紙記者含む)、神居地区のイベントとして定着しつつあるようです。新年度も引き続き(パワーアップ?して)継続されるようなので、期待しつつまた参加できればと思います。ご協力いただいた関係者・関係機関の皆さん、ありがとうございます。市教委スポーツ課スポーツ振興係より

## 「神居・江丹別 地域包括支援センター」をご紹介します！

神居2条10丁目3-8 TEL76-5511  
時間：月火木金 9時～18時 水のみ19時まで



主任ケアマネジャー 精神保健福祉士  
深川さん 赤間さん  
保健師 社会福祉士 保健師  
加藤さん 林センター長 岩本さん

相談内容に合わせて関係機関と連携しながら、適切なサービスや制度利用についての支援を行っています。

また、相談対応のほかに、筋力低下や認知症予防に取り組んでいただけるよう、地域の介護予防教室立ち上げのお手伝いをしています。地域のボランティアさんの協力も得るなど、地域に密着した活動にとっても熱心に取り組んでいます。

林さんは「まずは話すことで気持ちが軽くなります。お気軽にご利用ください」と、とてもおだやかな安心感のある口調で話されました。「もっと早く知っていたら…」となる前に利用してみたいかがですか。

高齢者の方々を支えるための相談窓口として平成18年に旭川市から

委託を受け、介護に関するだけでなく、健康・福祉・医療・生活(消費者被害・成年後見制度の活用)のことなど幅広く専門職の方々が対応しています。



## シリーズ～神居住民の健康について考える② こんにちは！地区担当保健師です！

お久しぶりです。旭川市保健所保健指導課の西村です。

さっそく前回の続き、神居地域の健康課題についてのお話です。カムイクイズ「神居地域は旭川市全体のデータと比べて〇〇と高血圧の割合が高い傾向にある」〇〇に入る答えは「肥満」でした！



旭川市国保特定健診(通称メタボ健診)の結果から、特に男性の肥満が多い事が判明！平成23年度のデータ(40～64歳)では男性の34.4% 3人に1人が肥満という結果でした。(女性は20.7%)

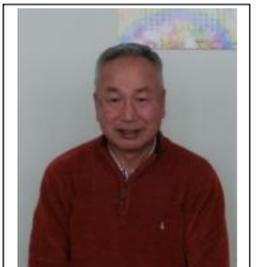
なぜ肥満？その背景には一体何が？  
実は、市の各種アンケート調査から、若い世代の男性の実態として①朝食を摂らない②野菜不足③塩分摂りすぎ④運動不足…などの傾向が見えてきました。思い当たる事はあるでしょうか？

「肥満」や「生活習慣病」は毎日の暮らし方の積み重ねからなるもの。保健指導課では、より若い世代から健康づくりに関心を持ってもらうべく「健康男子プロジェクト」を推進しています！詳しくは、広報あさひばし2月号の特集をぜひご覧下さいね！

## 神居公民館「冬休み子ども教室」百人一首 やって見たらたのしかったよ！！

1月10日(木)、神居公民館で「百人一首」が行われました。お正月明けのこの時期に、毎年開かれています。

赤翼歌留多倶楽部の宮野勝会長に話を伺いました。――「百人一首は、あいさつをすることにより礼儀正しくなります。真剣に取り組むと集中力が上がります。読み手の声を聞くことで音感が良くなります」と百人一首の良い所を話されました。「カルタを始めてから学校の成績が上がったお子さんもいるんですよ。カルタに集中することと休憩することの繰り返し、脳の働きにとってもいいようです」と驚きの効果についても教えてくれました。「毎年行っていますので、気軽に



赤翼歌留多倶楽部 会長 宮野 勝さん

遊びに来てください。」と笑顔で話されました。



白熱した対戦風景 大人も子どももみんな真剣！！

終了後、参加者に話を聞きました。――百人一首を始めて3年目の穴戸さん(中2)は、「札が取れたらうれしいし、負けたらくやしい。それが楽しくて続けています。週に3、4回はみんなで集まって練習しています。」

――今回が初めての下川くん(小4)は、「最初はルールもわからなくて難しかったけれど、わかってからは楽しかった。」

子どもから大人まで遊べる「百人一首」。みなさんも楽しんでみてはいかがでしょうか。